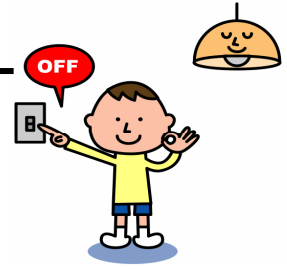


地球温暖化防止のためのCO₂削減／
ライトダウンキャンペーンの実施結果について（報告）



環境局 エネルギー・温暖化対策部企画課より、ライトダウンキャンペーン期間中の、市内の小・中学校の児童・生徒の取組結果が届きましたのでご報告します。

ライトダウンキャンペーンの目的

エネルギーと暮らしについて考え、地球温暖化防止のため、家庭などで省エネ行動を起こすきっかけをつくる。

ライトダウンキャンペーン期間

6月20日(日)から7月7日(水)までの18日間

特に、6月21日(月)と7月7日(水)の夜8時から10時までの2時間は全国一斉消灯

1. 取組結果

広島市では小学校は85校が参加。全国一斉消灯日の家庭での参加人数は、小学校が6月21日に17,111人、7月7日に18,431人、中学校が6月21日に2,565人、7月7日に3,021人でした。

五日市小学校では、延べ228人の方が参加されました。

区分	取組学校数	家庭での参加人数 (人)		
		6月21日	7月7日	二日間の計
小学校	85	17,111	18,431	35,542 (延べ)
うち五日市小では		105	123	228 (延べ)
中学校	26	2,565	3,021	5,586 (延べ)
合計	111	19,676	21,452	41,128 (延べ)

2. CO₂削減効果

今回のライトダウンキャンペーンにより、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)の排出量を、二日間で5,923.233kg削減することができました。これは、**スギの木約423本分**が1年間に吸収する量に相当します。**五日市小学校では二日間で22.715kg スギの木約1.6本分が1年間に吸収する二酸化炭素の排出量を削減することができました。ご協力どうもありがとうございました。**



注：「スギの木1本（50年スギで高さが約20～30m）あたり、1年で平均してCO₂約14kgを吸収する」をもとに計算。（出典：地球温暖化防止のための緑の吸収源対策）